

令和 7 年度事業活動計画

1 基本方針

- ◎法人の経営基盤安定と職員体制づくりに注力する
- ◎地域活動と交流の場である法人イベントの開催をすすめる
- ◎広報や各種活動を通して会員数、寄付者数の増加を目指す

2 事業

- (1) 障がい者就労支援事業所ワークショップようてい の運営 【個別事業計画1】参照
- (2) グループホームよろこび の運営 【個別事業計画2】参照
- (3) K.S.C Juntos の運営 【個別事業計画3】参照

3 活動

- (1) 精神疾患や障害に関する理解と交流、広報活動

＜講演会・研修会・交流活動＞

- ◎地域の支援者のスキルアップ企画として「たね塾」を開講する
月1回（5月～11月）、全7回の予定
- ◎地域の支援者向けのWRAP「くらっぷ」
自立支援協議会で検討している学びの場へ集約していく

＜広報活動＞

- ◎通信ともにの発行
障がい者情報の発信と法人活動の現状を伝えるため、定期的な発行を継続する。
- ◎インターネット媒体の充実
ホームページ、SNSの随時更新につとめる。

- (2) 地域内外の福祉関係団体と連携する活動

- ◎羊蹄山ろく地域自立支援協議会 定例会に出席
 - ・ 相談支援事業担当者会議
 - ・ 就労支援部会
 - ・ 知ってる会？
 - ・ 地域活動支援センター夢の匠サポート部会
 - ・ 障がい者地域包括ケアシステム検討会
- ◎羊蹄山麓障害支援区分認定審査会（推薦）隔月
- ◎後志圏域地域生活移行支援協議会（委嘱）
- ◎後志保健医療福祉圏域連携推進会議（委嘱）
- ◎倶知安町障害者施策推進協議会（推薦）
- ◎一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 理事
- ◎一般社団法人 北海道中小企業家同友会 しりべし・小樽支部 会員

- (3) 講師派遣活動

- ◎法人理念に照らし検討の上積極的に協力する

(4) 組織の運営安定化、拡充活動

◎広報活動等により、賛助会員および寄付金の増加につとめる

(5) 助成金・補助金活用の活動

◎法人運営に有効な助成金・補助金情報収集に努める。

◎利用者の作業活動等向上および業務改善を目的とした助成金活用を検討、申請する

(6) 認定NPO法人活動

◎認定NPO 法人であることを広め、活動の賛同者を募る。

◎寄付金の納税還付の利点を広める。

(7) 「わっくわく」地域活動

◎「わっくわくまつり」を継続開催し、地域のイベントとして定着させる。

◎「ともにカップ」を継続開催し、ソーシャルフットボールの定着に努める。

(8) 借入金返済の取り組み

◎事業の黒字化を目指し計画どおりの返済を実施する。

(9) 職員の働く意欲向上を目指す。

◎キャリアパス制度の研修制度の充実と評価制度を再構築する。

◎福利厚生を充実し、働く環境の整備を行う。

◎職員のストレスチェックを導入し、年1回は全職員対象の理事長面談を実施する。

(10) 防災対策を定期的実施する。

◎業務継続計画など各種計画を点検する。

◎火災訓練を年1回以上実施する。また事業所単位で防災教育を実施する。

◎地震、洪水を想定した防災訓練を年1回以上事業所単位で実施する。

(11) 虐待防止対策をすすめる

◎虐待防止委員会によるチェック機能をすすめる

◎虐待防止の法人内研修を年1回行う

◎職員同士が行動や言動をチェックし、風通しのよい環境を整える。

(12) グループホーム運営の将来的見通しについて外部への活動を模索する

◎グループホーム住居課題、職員の高齢化人材不足等の課題解決について地域ぐるみで外部と共同で活動できないか、問題提起と情報収集を行う一年とする。

◎長期計画を立案する。